

依頼事項の確認と議論の状況

1 依頼事項

- (1) 運賃の改定及びＩＣカードの導入について
- (2) コミュニティバスの一般路線化について
- (3) 交通不便地域の解消などについて
- (4) 簡易的、合理的な路線変更等の取扱いについて

2 各依頼事項に対する議論の状況

- (1) 運賃の改定及びＩＣカードの導入について

ア 運賃の改定について

(ア) 運賃設定

前提	路線バスとの運賃の格差、約１億円にのぼる財政負担を踏まえ、適正な運賃を設定する。
議論の状況	１５０円又は１８０円（均一）に値上げする意見が挙げられている。（現行１００円（均一））

(イ) 交通弱者に対する支援

前提	コミュニティバスの目的のひとつに交通弱者に対する支援があることから、割引制度導入等の配慮をする必要がある。
議論の状況	高齢者・障がい者・子どもに対する割引制度を導入するという意見が挙げられている。

イ ＩＣカードの導入について

前提	ＩＣカードでの支払を可能にすれば、利便性が向上する
議論の状況	導入経費として１０００万円程度を要するものの、運賃設定や各種割引に柔軟に対応できるなど利点が多いことから、導入する。

(2) コミュニティバスの一般路線化について

前提	コミュニティバスは、採算が見込めず路線バスが運行しない地域を運行しているが、一部コミュニティバス路線については採算が取れつつあることから、そのような路線については路線バスに移管し一般路線化することが可能ではないか。
議論の状況	コミュニティバスの一部を一般路線に移すという考え方はあり得る。 一般路線化は、民間移譲の程度によって、複数の方法が考えられる。 路線バスとコミュニティバスが重複している区間では、採算的に路線バスの維持が難しいため、逆にコミュニティバスに取り入れていくことを検討してはどうか。

(3) 交通不便地域の解消などについて

前提	交通不便地域の解消などのため、北山町循環、四谷六丁目ルート、是政循環に関する路線変更の案を提示した。
議論の状況	それぞれ課題はあるものの、承認する。

(4) 簡易的、合理的な路線変更等の取扱いについて

前提	簡易な路線変更や停留所設置等については、迅速な対応が求められる場合があることから、朝日町ルートに関する2つの例を挙げ、条件に合う案件については市の判断で実施可能にできないか。
議論の状況	2つの案件例については承認する。 事務局が示した条件案は、基準がまだ明確でないため、さらに議論する必要がある。 あらかじめ基準を決めておく方法もあれば、地域公共交通会議を定期的を開催し、軽微な案件もすべて取り扱う方法もある。